



初夏の日射しの朝、総勢七十

松尾の川の水中生物をつかまえてみよう!

新井 前 沢 亮

三名の参加者で「松尾の川の水
中生物をつかまえてみよう
!!」が行なわれました。
かわらんの「川にい」
こと久保田憲昭先生か
ら、川にいる生物のお
話、上手な捕り方を教
えていただいた後、中
溝川へ移動しました。
用意してあったハシ
ゴから恐る恐る川の中
へ入ったのも束の間、
すぐに「いたいた!つ
かまえた!」と大歓声
です。上手に足を使っ
て網へと生き物を追い
込み、捕えていきまし

松尾育成会便り

平成27年度
第33号

松尾地区まちづくり委員会
公民館育成部会
青少年健全育成会

た。容器は、あつという
間にドジョウ、ザリガニ、
ヤゴ、オイカワなどでいっ
ぱいになりました。
それぞれの容器を持
ち公民館へ戻り、久保
田先生からどんな生き
物か、どの様に飼ってい
たらよいか、えさは
何を与えればよいか
等の説明を受けました。
また、川の水質検査も
行なわれ、松尾の川は
きれいな川なんだと分
かりました。
暑さにも負けず夢中になっ
て捕える姿、久保田先生の飼育方
法を真剣に聞く姿がとても印象
的でした。



水質検査を行う子供たち

四年 前 沢 拓
水中生物をさがそうという行
事にはじめて参加しました。
ぼくは川で魚とったりするこ
とが大すきなので、とても楽し
みでした。
中みぞ川に入って、あみを横

中みぞ川に入っ

において、足でおいこんでい
くと、土の中にかくれているドジョ
ウがびっくりしてあみの中に入っ
てきました。
草がいつぱいはえているとこ
ろをねらって、もう一回やっ
てみるとアメリカザリガニが入
りました。
中みぞ川にはいろいろな生き
物がすんでいることがわかりま
した。また来年も行きたいです。

中みぞ川に入っ

寺所地区

夏休みお楽しみ会

支部長 小林 範久



七月二十六日に寺所地区児童
会による恒例行事「夏休みお楽
しみ会」が催されました。毎年、
地区児童の約九割が参加するこ
う驚異的な出席率を誇るこの
行事を、今年は「ビンゴゲーム」
の後、六年生児童と保護者が作っ
た「カレー」の夕食後、「肝試
し」、保護者による「打ち上げ
花火」の内容で行いました。
会に先立ち、寺所区内農家の
皆さんの
集まりで
ある「あ
すなる農
園」様の
ご厚意に
より、六
年生児童
を中心に、
ジャガイ
モの収穫
作業体験

をさせていただきました。
酷暑のなか、汗まみれになり
ながら収穫したジャガイモを、
夕食のカレーで食した下級生児
童たちを見て、満足げの六年生
でした。そして、下級生児童たち
が待ち受ける「肝試し大会」は、
会場内に響きわたる気味の
悪い効果音と、六年生が扮
するお化け達に泣き出す低
学年生や、入場出来ず逃げ
出してしまいう児童もあり、
大盛況でした。最後に保護
者役員による打ち上げ花火
が行われ、夏休みをスター
トさせた子供たちでした。

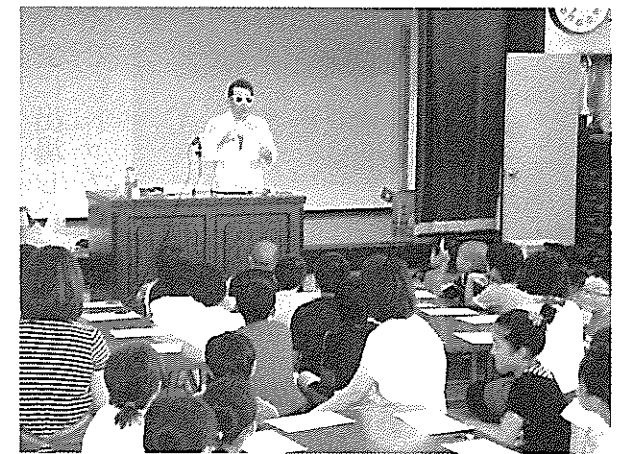
代田地区

夏休みお楽しみ会

支部長 宮澤 友樹

八月二日に代田児童会による、
お楽しみ会がありました。今年
はサイエンススクールの皆さん
をお招きして、コマ作りなどを
しました。子供たちがいろんな
かたちのコマを作り、いい交流
ができました。夕食は、壮年会

地区だより



の人が作ってくれた焼そばなど
おいしく頂きました。
夜の部は、肝試しをやりまし
た。六年生は、お化け役で自分
達で工夫した仕掛が好評でした。
仕上げは、ナイアガラ花火です。
肝試しで泣いてしまった子も、
笑顔で楽しく夏休みのスタート
を切りました。

毛賀地区

夏休み恒例行事肝試し大会

支部長 宮内 直樹

八月二日に毛賀区小学生参加



による夏休み恒例行事の肝試
し大会が開催されました。毎年、
お化け役は、六年生が担当しま
す。この日ばかりは、一年生の
頃からずつと上級生に怖がらせ
られてきたうつぶんを晴らして
やろうと、様々な仮装を用意し
ます。怖くて出発できない子や、
あまりの怖さに泣き出す子など、
開催地の毛賀神社周辺には、子
供たちの悲鳴や歓声が響き渡り
ました。いずれこの子供達が六年
生になると、今度はお化け役
になります。こうやって毛賀区
の肝試し大会は、もう何十年と子
供達によって受け継がれてきま
した。

「出張!! 科学実験教室」



超電導ジェットコースターが動く仕組みの実験

理科実験教室感想

五年 井上 萌花

今日は、初めておもしろ科学実験をやりました。その中で、一番心に残ったことが二つあります。

一つ目は、ビニールボールが先生から代表に選ばれて、やることのできたからです。最初は、ものすごくきんちょうしたけど、けがをせずに、やることのできてよかったです。二つ目はダリアという花を

液体チツ素に入れて、こなごなにすることができました。理由は、わたしは選ばれなかったけど他の友達やっているところを見ていて、お花だとは、すごく思えないぐらいパリパリになっていたのでびっくりして、とてもおもしろかったからです。

五年 森下 しおり

一、二時間目に、理科実験教室がありました。まず最初に、マイナス190度の液体に、風船をふくらませてくれました。下から入れたのに上の方から空気がちぢんでとり出すと、元にもどっていきました。パッとわかれてしまうのも

ありました。次にお花を、液体チツ素に、入れる実験をしました。何秒かたつてからとり出すと、お花が凍って、さわるとバリバリと、花びらが落ちました。やってみると、シャーベットみたいに冷たくて、さわると、バリと音がして、少し手に花の色がつきました。次に、リニアの実験をしました。次に、リニアの実験をしました。じ石のNSが順番になっていました。そうすると、リニアが動くのです。最後に、マシユマ口を液体チツ素にいれて食べました。つめたくておいしかったです。たのしい実験ができてよかったです。

五年 今村 天海

ぼくが、理科実験教室で心にとつたことは、三つあります。一つ目は、花をドライアイスでこおらせたものです。理由は、花をこおらせたあとに手でつぶすと、かれたおち葉みたいでもおどろきました。

二つ目は、じしゃくとドライアイスをつかった実験です。理由は、じしゃくのあいだにハップウスチロールをぬいたらじしゃくがういて、回したら、ほんとにまわっていたからです。最後の三つ目は、先生たちが、

ドライアイスに手をいれる実験です。理由は、先生たちが手をいつしゅんでいたらこおらずにいたのでとてもおどろきました。理科実験教室でぼくは、花をドライアイスで、こおらせたものを、手でぎってばりばりとやってみたくて思いました。

五年 片桐 礼菜

えきたいちつそで風せんの中の空気をえきたいにしてしまつたのでびっくりしました。そして、すぐ元の形にもどつていったのでびっくりしました。カメラのフィルム入れのふたがとんできたのでびっくりしたけど、おもしろかったです。ダリアの花もえきたいちつそに入れるとパリパリになってくだけてびっくりしました。

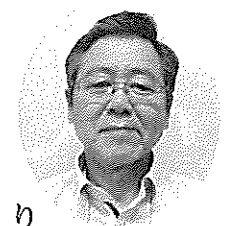
はんどごでの実験も、じしゃくがういたり、アルミなのにじしゃくがゆつくりと落ちていったのでおもしろかったです。すごく、楽しくて、びっくりした理科実験教室でした。

十年後わたしは、自然がたっさんな飯田市にしたいです。理由は、ビルがいつぱいで自然がなくなつてしまつたらかなしいからです。

「はい」の返事

青少年健全育成会長

松澤 秀明



青少年健全育成会長をやらせていただくことになりました。代田の松澤秀明と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

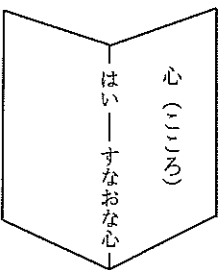
松尾児童クラブの開所式で、こなごな話をさせていただきました。ここに一枚の紙があります。これを立てようと思います。立ててみます。(何回かやってみるが、なかなか立たない) 何かいい方法がありませんか?・・・しばらくして、前の席にいた男の子が「紙を折る」なるほど、やってみますね。見事に立つ。

素晴らしいですね。(拍手: お名前は〇〇〇〇です。) なるほど。紙の中に一本の折り目(スジ)を付けると、ぐにやぐにやの紙がピンとなって、しっ

かりと立つんですね。この紙を「みなさんの心」だとします。

新しい紙を取り出して、「こころ」とマジックで書く、紙をこうして折ると、ぐにやぐにやの心や気持ちピンとなつて立ちます。この「折り目」(スジ)に当たるのが、「はい」の返事だと言われています。さらに、「素直な心」の現れでもあると言われています。

紙の折り目に「はい」と「すなおな心」と書き入れて、立てる。



児童クラブの先生に何か言われたら「はい」と大きな声で返事をしてくださいね。きつといい事がたくさんあると思います。

今日は「はい」といい返事をすると、心や身体が「ピン」となります。「はい」の返事は「素直な心」でもありますというお話をさせていただきました。

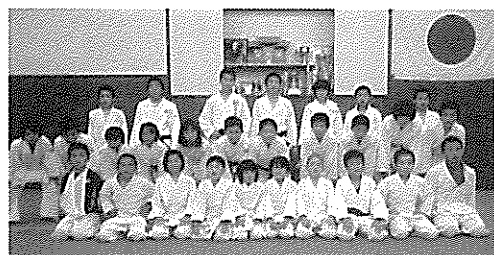
松尾公民館柔道クラブ

武道を通して

保護者会長 松澤 巖

毎週火曜日と金曜日の二回、十九時〜二十時三十分まで松尾公民館ミニ体育館で練習に励んでいます。柔道は投げ技・固め技・当身技を主体とする武道で身体、精神、礼儀等鍛錬し世界的にも普及しています。

当クラブ員も一年生〜六年生まで二十名で活動していますが、勝つことの気持ちが大事で年間、大小いくつもの大会に出場し最近では南信地区でもトップクラスの成績を納めています。柔道を通していろいろな面で子供たちが一歩ずつ成長していき期待し見守っています。



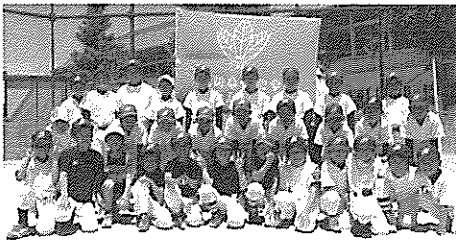
思っています。

松尾少年野球教室

白球を追いかけて

保護者代表 山口卓志

今年度松尾少年野球教室は、体験教室などを開催し、新入部員五名を迎え、三年生から六年生まで総勢三十名で活動しています。五・六年生は土日、三・四年生は日曜日の八時から十二時半まで、松尾小校庭などで練習しています。「誰にでも元氣よく挨拶、グランド内は全力疾走、最後まで諦めない、感謝の気持ちを忘れない。」この事を監督との約束とし、日々練習しています。大会で優勝するという目標をたて活動していますが、基本を大切に、野球の楽しさを忘れないよう、監督、コーチ、子供達が一つになって頑張っています。是非、見に来て下さい。



クラブ・教室だより